

Conference Report

学界情報 国際会議レポート

IEEE Industry Applications Society 45th Annual Meeting (IAS2010)
October 3 - 7, 2010, Houston, Texas, USA

2010年10月3日から7日までの5日間、IEEE Industry Application Society 2010 Annual Meeting (IAS2010)がアメリカ、テキサス州のヒューストンにある Hyatt Regency Houston で開催された。この会議は自動制御、静電気、鋳業、金属、電気設備規格などの幅広い分野をカバーする会議であり、今年で45回目となる。また、受付で配布されたプログラム資料によると今年新しい形態になって2年目であり、これまで30年以上の間決まったスケジュールにて行われていたが2009年に Industrial Power Conversion Systems Department に属する4つの Technical Committee が Energy Conversion Congress and Exposition (ECCE) に移転したためスケジュールが大きく変わったとのこと。確かに会議の構成が Tutorial と Technical Session の二本立てに変更され、それに合わせ参加登録費も Full conference registration, Technical sessions only, Tutorials only の3種類に分かれていた。

Tutorial は全部で12件行われ、特に Power System 関連のものが多く見られた。一方、Technical Session は Plenary Session を含めると全部で22件あり、発表は122件であった。Plenary Session では Industrial Automation and Control Committee から1件、Power System Engineering Committee から2件、General Applications in Industry Committee から1件、Electrostatic Processes Committee から1件の計5件の講演が行われた。風力エネルギーの貯蔵方法、アークフラッシュに対する保護具選定への危機管理原則の応用、電力変換技術の航空機への応用、静電気応用技術の発展といった内容でどの発表も興味深いものであった。Technical Session における各 committee のセッション数は以下のとおりである、Electrostatic Processes : 6件、Industrial Automation and Control : 4件、Metals Industry : 2件、General Applications of Electrical and Electronic Engineering Industry : 1件、Power System Protection : 1件、Power System Engineering : 3件、Mining : 2件、Energy Systems : 2件。セッション数が以前に比べ少なくなっている理由としては、上記の Industrial Power Conversion Systems Department の ECCE への移転が大きく影響しているためであるが、開催場所が昨年と同じということも影響したのかもしれない。

3日目の Awards Dinner and President's Banquet では各種の Award の授与があり、日本人では安川電機の久米常生氏が Distinguished Lecture に選出された。また、特に優れた業績をあげた35歳以下の研究者に授与される Andrew W. Smith Outstanding Young Member Award には Dr. Wei Qiao (The University of Nebraska-Lincoln) が選ばれた。驚いたのは、彼は研究代表者として U.S. National Science Foundation などか



図1 セッション終了後に部屋に残っていた方々との記念撮影

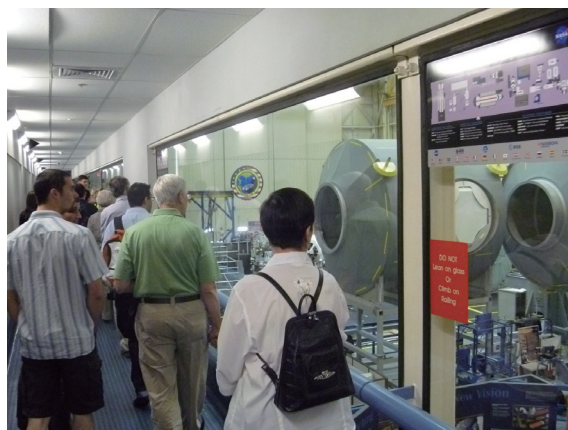


図2 NASA ツアー（訓練施設見学）の様子

ら\$2.5 million 以上の研究費のサポートを受けているとのこと、同じ世代ということもあり非常に刺激を受けた。

今回は学会主催の見学会として1日目に NASA Johnson Space Center へツアーと4日目の San Marcosにある Thermon 社の工場へのツアーが企画されていた。1日目は比較的時間に余裕があったため、著者は NASA ツアーに参加した。NASA ツアーに参加したのは約40名で NASA Johnson Space Center ではトラムに乗りながら施設間を移動し、スペースシャトルなどの運用管制センターや訓練施設を見学した。

次回は2011年10月9日～13日にアメリカ、フロリダ州のオーランドにある Walt Disney World Swan Hotel で開催予定である。観光地としても人気がある場所であり、参加者が増え、今回の会議以上に盛り上がることを期待したい。

黒木 智之 (大阪府立大学)

(平成22年10月15日受付)